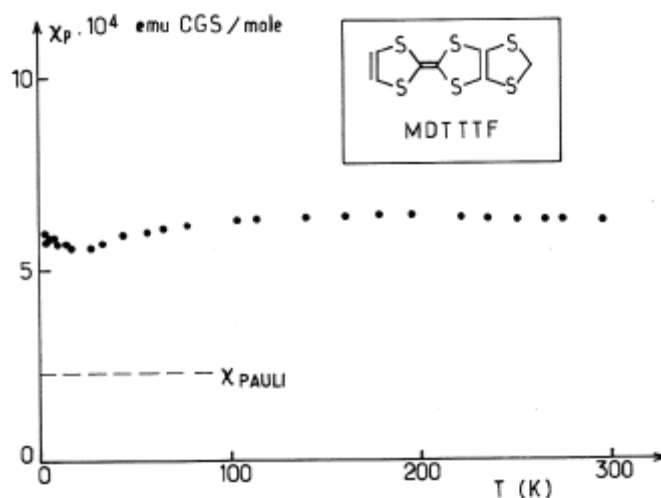
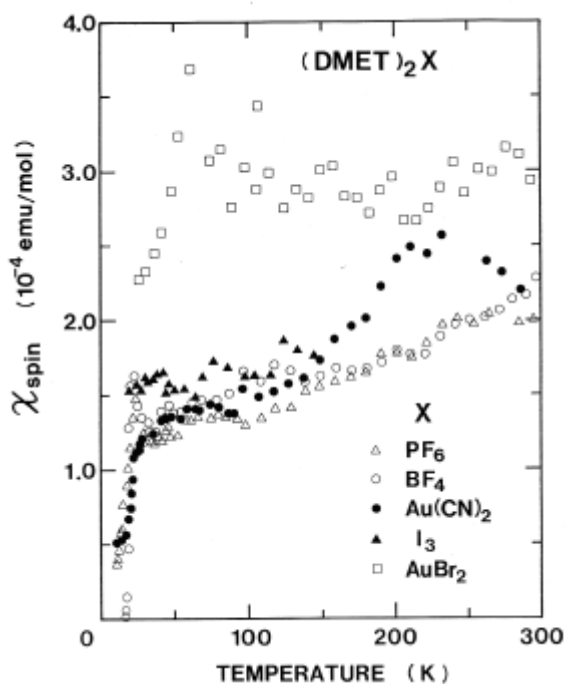


[5] κ -(MDT-TTF) $_2$ AuI $_2$ 

P. Delhaes et al., J. Phys. France 51, 1179 (1990).

コメント： 1)多結晶試料の静磁化率、2)コアの反磁性磁化率は補正済み、3) χ_{Pauli} は、拡張ヒュッケル法に基づく強束縛バンド計算から得られるパウリ常磁性磁化率。

[6] (DMET) $_2$ X (X=PF $_6$, BF $_4$, Au(CN) $_2$, I $_3$, AuBr $_2$)

K. Kanoda et al., Phys. Rev. B 39, 3996 (1989).

コメント： 1) ESR によって得られるスピン磁化率、2) AuBr $_2$ には2つの多型があるが、図のデータは、 κ -型の方。